

## 評価結果概要表

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870300864
法人名	有限会社 三幸
事業所名	グループホーム つしま
所在地	宇和島市津島町高田甲83-1
自己評価作成日	平成21年7月2日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年7月21日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>ご本人・ご家族の希望に応じて看取りに取り組んでいる。その為にご家族の宿泊施設がある。</p>
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>事業所で自治会に加入されており、清掃や地域のお祭り等への参加等、普段から地域交流への積極的な取り組みを重ねておられる。又、開設時から「グループホームつしまのオリジナルTシャツ」を職員が着用、外出時等には地域の方達にはホームを知ってもらえるよう、取り組みを進めておられる。地域の人達が事業所のために田畑を作ってくれていて、お米や野菜を届けてくださり、地域の方もよく事業所に訪れてくださっている。散歩の際にはクロックエーの練習を見学されたり、時には一緒に楽しむこともある。休日を利用して、職員の子供さん(中学生)が花壇の手入れに来てくれることもある。</p>
--

### ・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目: 23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目: 9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目: 18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目: 2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目: 38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目: 4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目: 36,37)	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目: 11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目: 49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目: 30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目: 28)		

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム つしま

(ユニット名) はまゆう

記入者(管理者)

氏名 土居 松美

評価完了日

平成21年6月30日

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価)	
			入所者の穏やかな暮らしを支え、家族に信頼されるよう努力している。	
			(外部評価)	
			事業所では、「穏やかに、その人らしく過ごせる日々をお手伝いします」「寄り添い、共に歩き、ぬくもりのある生活を支援します」の理念を掲げ、利用者が地域の中で暮らし続けられるよう支えておられる。職員は、理念を日々のケアの中で振り返りながら取り組まれている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価)	
			自治会の会合や清掃活動に参加し地域の老人会にも参加させて頂いている。	
			(外部評価)	
			事業所で自治会に加入されており、清掃や地域のお祭り等への参加等、普段から地域交流への積極的な取り組みを重ねておられる。又、開設時から「グループホームつしまのオリジナルTシャツ」を職員が着用し、外出時等には地域の方々にホームを知ってもらえるよう、取り組みを進めておられる。地域の人達が事業所のために田畑を作ってくれていて、お米や野菜を届けてくださり、地域の方もよく事業所に訪れてくださっている。散歩の際にはクロッキーの練習を見学されたり、時には一緒に楽しむこともある。休日を利用して、職員の子供さん(中学生)が花壇の手入れに来てくれることもある。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価)	
			推進会議等を通じて話をしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>会議で提案された事を実践している。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>偶数月の第3水曜日午後には会議を開催することが決 まっており、会議では「介護保険や認知症の正しい理 解」「グループホームについて」等、お話しをされて いる。又、地域代表の方から俳句を楽しむ会へのお誘 いをいただき、俳句のお好きな利用者の方が、地域の 方達と近くの「南楽園」に出かけられる予定となってい た。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>頻繁に連絡を取り合っている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>管理者は、宇和島市のグループホーム連絡会の会長を されている。又、市の介護事業者の集まりにも参加さ れている。津島夏祭りには、「認知症になっても、よ いよええ町宇和島」とプリントしたTシャツを着て、職 員が参加することになっている。中学生の職場体験の 受け入れも、市と相談しながら取り組んでいきたいと 考えておられた。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>身体拘束をしない事を理解しケアをしている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>管理者及び職員は、身体拘束について市や県GH協議会 主催の外部研修に出席して学んでおられる。職員は、 利用者が自由に暮らせるようなケアを心がけ、ご家族 へは危険性について説明し、対応の工夫についても話 されている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)  研修・資料等にて学び徹底している。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)  親しい弁護士や司法書士に指導して頂いている。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)  質問を受け理解して頂けるよう努力している。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)  意見や要望はスタッフで話し合い改善している。又家族に対してや推進会議でも報告している。  (外部評価)  毎月、お手紙や写真、電話等で利用者の暮らしぶりを伝え、ご家族の来訪時には、意見や要望を聞いておられる。	       ご家族の知りたい情報を探り提供されたり、運営推進会議で話し合われた内容をご家族に伝える等、運営に関して具体的な意見が出しやすいよう、働きかけの工夫を重ねていかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			2ヶ月に一度職員だけで会議を行い主任より報告されている。	
			(外部評価)	
			他事業所の職員との交流会で情報交換した内容を事業所で話し合われたり、職員人員配置の検討や食材や、利用者の日用品等の購入についても、アイデアを出し合い話し合われている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			時間外労働はさせない。役割分担し業者との交渉や注文もまかせている。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			定期的にケアについての意見交換やGH連絡会の研修に参加している。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			他施設見学や交流の為に食事会をしている。	
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			不安や要望を聞き取り安心して暮らせるように努力している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>家族の思いを理解しようと努力し気軽に話せるよう配慮している。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>相談内容によって他の事業所を紹介している。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>食事や日課を共に行い多くの事を教えて頂いている。</p>	
19		<p>本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人の体調が悪いときは夜間も付き添ったりされる家族もあり協力して頂いている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入所時から変わりなく面会に来たり、お墓参り等に出かけられている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者の希望を聞きながら、お墓掃除等にも出かけておられ、地元を訪れることで顔見知りの人達に会うこともある。又、ご自宅の換気や衣替えに戻られることもある。地域の人達との交流の場で、ご自宅の近所に住まわれていた方と再会したことをきっかけに、事業所を訪れてくれる人もいる。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価)	
			レクレーションや日課でお互いに交流が図れるよう支援している。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価)	
			入院などで利用が終了してもお見舞いや家族の要望で支援している。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)	
			思いや希望を把握しようと努め、職員間で検討している。	
			(外部評価)	
			ご本人やご家族から生活歴等をお聞きして、情報収集に努めておられる。又、意思表示が難しいような利用者には、職員が声掛けして、手を握ってもらう等、意思の確認に努めておられる。	利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望について、ご本人の求めていることを探り、情報の収集に努め蓄積し、その人らしい暮らしを続けるための介護計画作りに、つなげていかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)	
			できる限り情報収集しているが独居だった為難しい方もおられる。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価)	
			入所時の情報や入所後の状況を観察し職員間で話し合うようにしている。	



自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人・家族の希望を中心にカンファレンスにて意見をまとめ作成している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>「ゆっくりと生活したい」「普通に、家に居たときと同じように暮らしたい」等、ご本人の意向を踏まえ、ご家族の希望を聞きながら2ヶ月ごとにスタッフ会で話し合い、介護計画を作成されている。その後は、3ヶ月毎に見直しをされている。</p>	<p>職員は、今後、介護計画について毎月話し合い、モニタリングや評価を細かく行い、利用者がより良く暮らすための計画を作成していきたいと話しておられた。アセスメントの充実とともに、取り組みをすすめていかれてほしい。</p>
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>日々の暮らしやケアプランの評価を話し合い見直ししている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人や家族の状況に応じて通院・外出の支援をしている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>地域の方へ見守りや声掛けをお願いしている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	(自己評価)	<p>入所前のかかりつけ医やホームの協力医療機関と連携 を図り支援している。</p>	
			(外部評価)		
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している</p>	(自己評価)	<p>看護職員に報告・相談し健康管理を行っている。</p>	
			(外部評価)		
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	(自己評価)	<p>入院時はできる限り面会に行き安心できるよ うにして いる。又 病院側からも経過報告がある。</p>	
			(外部評価)		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につ いて、早い段階から本人・家族等と話し合 いを行い、事業所でできることを十分に説 明しながら方針を共有し、地域の関係者と 共にチームで支援に取り組んでいる</p>	(自己評価)	<p>看取りの指針を定め、本人・家族の希望を聞き ながら、かかりつけ医を交えて話し合いをして いる。</p>	
			(外部評価)		

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)	
			看護職員を中心に定期的に勉強会をしている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)	
			地域の協力者も参加して、昼夜の避難訓練を実施している。	
			(外部評価)	
			消防署の協力を得て避難訓練を行われたり、夜間時の避難誘導やいざという時の職員同士、又、地域の協力者との連携等について話し合いを重ねておられる。	
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)	
			誇りやプライバシーに配慮した声掛けをいている。	
			(外部評価)	
			食事の際の食べこぼしや、トイレ誘導の際の声かけは、小さな声でされていた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)	
			各担当者を中心に本人の思いや希望を引き出すようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 天候や体調に合わせ希望される日課を過ごして頂いている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 本人の行きつけの美容院やスーパーに出かけている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 地元の食材を使い会話しながら一緒に下ごしらえしている。	
			(外部評価) 事業所で食事作りをされており、調査訪問時、利用者は、味見や配膳、下膳、食器洗い、テーブル拭き等がされている様子がうかがえた。利用者の好みや状態に合わせて、魚を姿のままお出ししたり、身をほぐして出されていた。テーブルには急須にお茶が入っており、利用者はお代わりをされていた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 健康が維持できるように食事・水分量を把握し健康管理に努めている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 食後口腔ケアの声掛けや誘導をしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)  排泄パターンや習慣を把握し支援している。  (外部評価)  入居時、おむつを使用されていた方も尿意があることに職員が気づき、ご本人の排泄パターン等の把握に努め、支援を重ねて現在は、布パンツに改善されたというような事例がある。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)  できる限り食事や水分を摂ることで便秘を解消している。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)  朝入浴を希望される方もおられ、本人の生活習慣やペースに合わせて支援している。  (外部評価)  利用者に、午前・午後とお風呂に入る時間の希望をお聞きして支援されている。時には、誘い合わせてお二人で入浴されることもある。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)  遅い時間まで眠れない入所者は夜勤者とテレビを見たり、会話を楽しまれる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価)  症状の変化があれば、かかりつけ医に報告し指導していただいている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価)  得意なことでホームのお手伝いをしたり、職員と外出して気分転換を図られている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価)  希望の日や時間帯を聞き取り家族や地域の方の協力を得ながら支援している。	
			(外部評価)  毎日散歩を楽しまれており、犬の散歩をしている近所の方とおしゃべりされたり、時に犬を抱かせてもらうこともある。ご家族が来訪してご本人と一緒に散歩されることもある。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)  本人の希望により家族の理解を得て銀行や買い物にだ掛けている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)  家族や友人に手紙を書いたり、贈り物が届いたら電話をかけている。又本人が携帯電話を所持している方も居られる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	時計やカレンダーを見やすい位置に掛け、季節の花を生け心地よく過ごせるように配慮している。	
			(外部評価)	居間のテーブルには、ひまわりやダリヤの花が生けられており、七夕飾りや風鈴、又、タペストリーも夏らしい柄で季節を感じられるよう工夫されている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価)	それぞれの方が自分の場所があり、自由に過ごされている。	
			(外部評価)		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	仏壇やソファ等馴染みの家具を置かれ落ち着いて暮らせるようにしている。	
			(外部評価)	居室は、ご本人やご家族と相談しながらしつらえておられ、使い慣れた時計や書類ケース、毛糸や編み棒、又、お花を飾っておられる方もあった。居室の窓から外の景色を楽しみに眺める方もおられる。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)	家具の配置等を工夫し安全に暮らせるようにしている。	
			(外部評価)		